

遠隔転移を有する切除不能進行膵癌症例における2次治療の重要性とその適応に関する観察研究のお知らせ

【研究の目的と意義について】

切除不能進行膵癌に対するGEM+nab-PTX併用療法¹⁾やFOLFIRINOX療法²⁾などの新レジメンが登場し、生存期間の有意な延長が多数報告されています。また、同疾患に対する2次治療施行例も増加してきており、2次治療の有無で生存期間に有意な差を認めたとする報告も散見されています³⁾。

しかしながら、2次治療施行の適応に対する判断因子に関する報告例はほぼ見られず、確立していないのが現状です。本研究の目的は、当院にて遠隔転移を有する切除不能進行膵癌と診断された症例においても2次治療の有無で生存期間に有意差があるのか、また2次治療の治療適応を判断する因子にはどのようなものが存在するのかを検討するものです。

【対象者について】

2010年1月から2016年8月までの期間に当院で遠隔転移を有し、病理学的に浸潤性膵管癌と診断され、化学療法を施行した方です。

【研究の方法について】

患者様の診療情報を電子カルテより調査・抽出させて頂き、2次治療の適応に関する判断因子および治療施行の有無による予後への影響を検討します。

【研究期間について】

医の倫理委員会の承認及び病院長の許可後から2017年4月30日までとさせていただきます。

【プライバシーの保護について】

データ収集の際には患者さん個人を特定しうる情報（個人情報）は院内で厳重に管理し、個人が特定されないよう匿名化した上でデータ収集、解析を行いません。この取り組み・研究の成果は学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。また、この取り組み・研究は当院医の倫理委員会の承認を得て、患者さんの権利が守られていることや医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

本研究に関してご質問がある方や対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合には、お手数ですが下記医師に連絡・相談頂ますようお願いいたします。

平日9時~17時 近くの医療スタッフにお声掛け頂きますようお願いいたします。

【実施体制】

研究責任者 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科医員 渡邊 幸太郎
研究分担者 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科部長 八隅 秀二郎

田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科

〒530-8480 大阪府大阪市北区扇町 2-4-20 TEL 06-6312-1221 FAX 06-6361-0588